

第1章 地域課題検討会の概要

(1) 外環の計画と経緯の概要

国土交通省と東京都では、東京外かく環状道路（関越道～東名高速間）（以下、外環という）について、計画の初期段階から幅広く意見を聴きながら検討を行ってきました。

構想段階では、平成13年に「計画のたたき台」、平成15年に「方針」を公表し、PI外環沿線協議会等様々な場を活用して、幅広く意見を聴きながら、その必要性等の検討を行ってきました。その検討を踏まえ、平成17年には外環の整備による首都圏の交通渋滞や環境の改善、経済効果、都市再生に果たす役割等から、沿線地域をはじめ首都圏全体として、外環の必要性は高いと判断し、構想段階を終了しました。

次の計画段階では、計画概念図を公表し、外環整備に伴う地域環境への影響や対策について、より詳細な検討を行い、東京都知事が平成19年4月に道路構造を高架方式から地下方式に変更する都市計画変更決定を行い、計画段階を終了しました。また、同年12月の第3回国土開発幹線自動車道建設会議の議を経て、国土交通大臣は建設線の区間、主たる経過地などの基本計画を決定しました。

今後は地域の課題に対してどのような対応が可能か具体的に検討していく必要があります。これまで、今後のPIについて、PI外環沿線会議でのご意見、「外環ジャーナル」や「ホームページ」を活用して住民の方から頂いたご意見、有識者の方々からのご意見など多くのご意見を頂きました。国土交通省と東京都では、これらの意見を参考にしながら、今後事業を実施した際に、外環事業をよりよいものとするため、環境対策やまちづくりなど多岐にわたる地域の課題を地域ごとに整理し、その対応の方針をまとめることとしました。とりまとめにあたり、国土交通省と東京都は沿線区市と協力し、地域のみなさんの意見や考え方を取り入れるため、平成20年1月から、沿線の区市において地域課題検討会を順次開催しているところです。

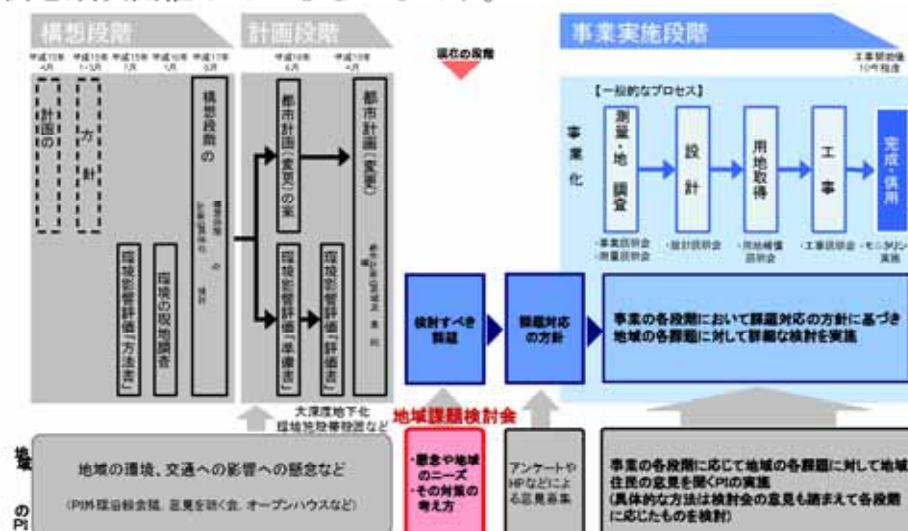


図 検討の経緯と今後の進め方

(2) 地域課題検討会の開催経緯

○募集メンバー、募集期間

- ・ 地域課題検討会のメンバーは公募により募集しました。
 - ・ 対象地域：世田谷区砧地域に在住、在勤、在学の方
 - ・ 募集期間：平成 19 年 12 月 15 日～平成 20 年 1 月 9 日
 - ・ メンバー登録人数：86 名

○第 1 回 平成 20 年 1 月 26 日(土)13:30～17:00 参加人数 73 名

会場：世田谷区立砧中学校体育館内 1 階・格技室

- ・ 第 1 回目では、まず地域課題検討会の趣旨と検討会の進め方についての説明を行った後、全体進行役の進行によって、8 つのグループに分かれて、グループ検討を行いました。グループ検討では、地元ならではの視点から、地域の具体的な懸念や求めることについて話し合いました。

【検討テーマ】

- ・ 地域課題検討会の趣旨、検討の進め方についての確認
- ・ 外環整備に関する地域の具体的な懸念及び地域が求めること



○第 2 回 平成 20 年 3 月 2 日(日) 10:00～17:00 参加人数 67 名

会場：世田谷区立砧中学校体育館内 1 階・格技室

- ・ 第 2 回の開催に先立ち、午前中に現場見学会を行い、地域課題検討会のグループ毎に分かれて、東名ジャンクション（仮称）の計画地周辺を歩き、現状や地域情報について確認しました。

また、午後の地域課題検討会では、第 1 回の検討確認のあと、前回に引き続き地域の懸念や期待することなどについて、グループ毎の検討を行いました。午前中の見学結果も活かしてテーマや場所ごとに論点を絞って話し合い、最後の全体発表で、各グループの話し合いの結果を共有しました。

【検討テーマ】

- ・ 外環整備に関する地域の具体的な懸念及び地域が求めること



○第3回 平成20年5月11日(日) 13:00~17:00 参加人数 60名

会場：世田谷区立砧中学校体育館内1階・格技室

- 第3回地域課題検討会では、第2回までに話された「地域の懸念や求めること」について確認し、グループ毎に東名ジャンクション（仮称）の模型を見ながら技術的な助言役の説明により計画内容や周辺状況等を確認しました。この後「特に重視したいと思うこと」及び「地域にとって残したい特長や大切な資源は何か」についてグループ検討を行い、最後に発表内容を話し合いまとめました。この全体発表を通じて、各グループの検討結果を共有しました。

【検討テーマ】

- ・外環整備に関する地域の具体的な懸念及び地域が求めること
- ・地域の残したい特長や大切な資源



○第4回 平成20年6月22日(日) 13:00~17:00 参加人数 52名

会場：世田谷区立砧中学校体育館内1階・格技室

- 第4回地域課題検討会では、第3回までに議論して頂いた「外環整備に関する地域の具体的な懸念及び地域が求めること」の成果を踏まえて、主催者（国土交通省、東京都、世田谷区）が「検討すべき課題（案）」を、事務局がこれまでに議論した「対応のアイデア」を提示しました。「検討すべき課題（案）」の内容を確認の上、「課題解決のための考え方と課題の重要度」について、計画の要素（ジャンクション、環境施設帯など）ごとにどんな配慮が求められるか等をテーマにグループ検討を行い、全体発表を通じ、各グループの検討結果を共有しました。

【検討テーマ】

- ・課題解決のための考え方と課題の重要度
- ・地域の残したい特長や大切な資源



○第5回 平成20年9月7日(日) 13:00~17:30 参加人数 56名

会場：世田谷区立砧中学校体育館内1階・格技室

- ・ 第5回地域課題検討会では、第4回で議論して頂いた「課題解決のための考え方と課題の重要度(案)」の成果を踏まえて、新たに主催者が「課題への対応の方向性と優先度(案)」を提示しました。グループ検討では、その内容を確認のうえ、“課題に対しての具体的な解決策”、“今後詳細に検討する段階において検討の進め方や住民の関わり方”等について検討を行いました。全体発表では、各グループごとにこれまでの議論の総括として発表して頂き、これまでの検討を共有しました。

【検討テーマ】

- ・ 対応のアイデア



(3) 地域課題検討会の検討プロセス

外環整備に伴う地域の課題の解決に向けた対応の方針を検討するにあたり可能な限り反映します。また、対応の方針とりまとめ後も、各段階ごとに引き続き地域の意見を聴きながら、より具体的な対応について検討します。

なお、地域課題検討会の進め方は以下の通りです。

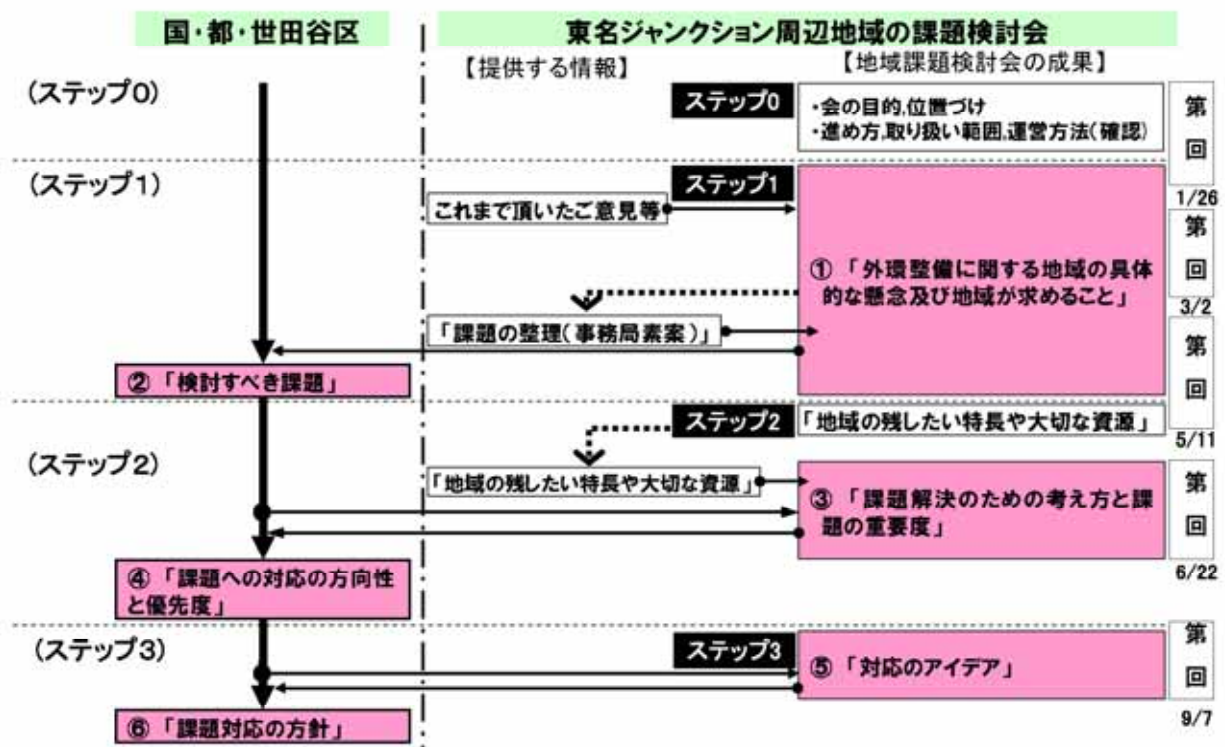


図 東名ジャンクション周辺地域の課題検討会の進め方

〈ステップ1〉

①外環整備に関する地域の具体的な懸念及び地域が求めること【検討会メンバー】

- ・ 外環計画が具体化した際、地域にとっての懸念や期待を住民の視点でまとめたものです。

②検討すべき課題【主催者】

- ・ 「外環整備に関する地域の具体的な懸念及び地域が求めること」の意見の趣旨を踏まえて、主催者が外環事業やまちづくりを検討する上でそれぞれの立場から現時点で認識した課題を交通、環境などのテーマで分類しまとめたものです。

〈ステップ2〉

③課題解決のための考え方と課題の重要度【検討会メンバー】

- ・ メンバーが議論した内容と、課題解決のための考え方を掲載しています。

課題解決のための考え方は、各グループの進行役が、これまでの議論を踏まえてまとめたものです。

④課題への対応の方向性と優先度【主催者】

- ・ 外環計画が具体化した際の東名ジャンクション周辺地域における課題に対する対応の基本的な方向性と、課題対応の優先度(検討や対応をどの段階で実施するか)を整理したものです。

〈ステップ3〉

⑤対応のアイデア【検討会メンバー】

- ・ 課題解決のための具体的な考え方（アイデア）等を住民の視点でまとめたものです。

⑥課題対応の方針【主催者】

- ・ 検討すべき課題に対する具体的な考え方（アイデア）等を踏まえて、課題に対する対応の方針を示したものです。